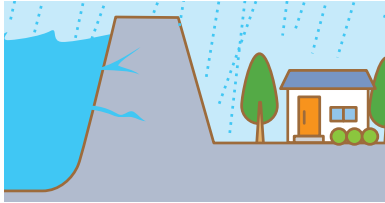


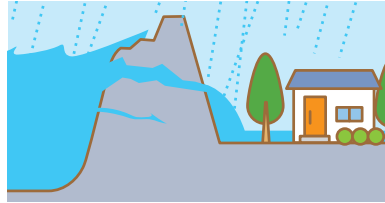
マップを
使用する
うえで

この江南区洪水ハザードマップは、新潟市総合ハザードマップの補助資料として、江南区に影響のある河川の洪水浸水想定図を掲載したものです。洪水や避難の解説等は、このハザードマップでは省略していますので、新潟市総合ハザードマップと照らし合わせながらご覧ください。

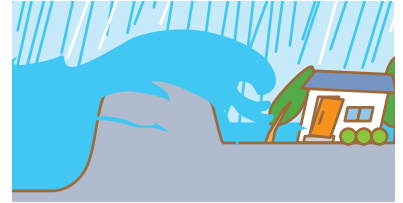
洪水発生仕組み 洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。



大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増え、堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



堤防の崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

シミュレーション設定条件、降雨規模

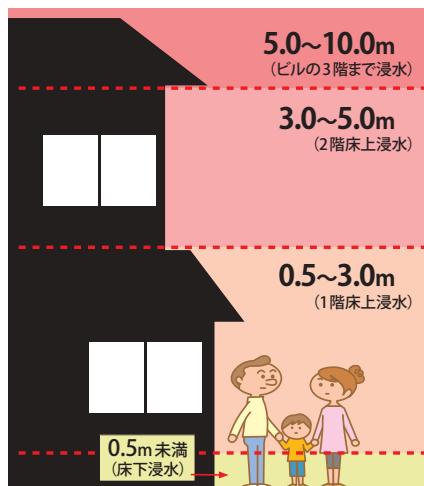
想定最大規模・計画規模の降雨となった場合、設定河川以外の小河川も同時に氾濫するおそれがあります。市からの避難情報や気象情報に注意して適切な避難行動を取ってください。

想定最大規模(およそ1,000年に1度)

計画規模(およそ70~150年に1度)

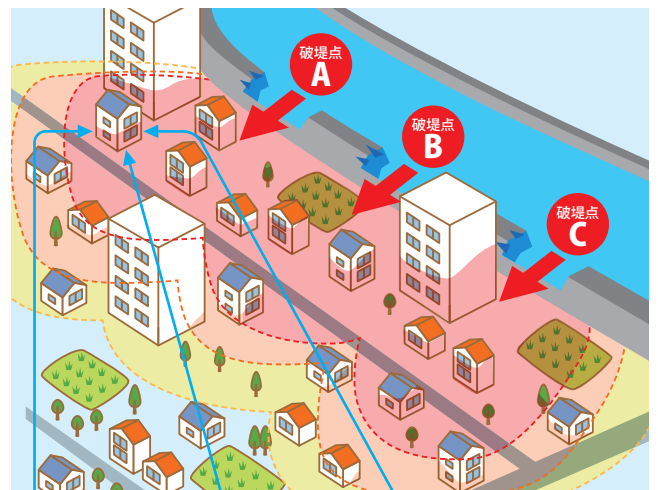
設定河川	想定雨量
信濃川(信濃川水系)	48時間 633mm
阿賀野川(阿賀野川水系)	48時間 382mm
小阿賀野川・能代川(信濃川水系)	24時間 731mm
栗ノ木川(上流)・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路(信濃川水系)	48時間 285mm
早出川(阿賀野川水系)	48時間 809mm
安野川(阿賀野川水系)	24時間 353mm(山地)・300mm(平地)

浸水の目安



洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点(堤防が決壊すると想定した箇所)について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所で氾濫解析シミュレーションを行い予想しています。



重ね合わせ

深 中 浅



マップに示した想定は、全ての予想結果を重ねあわせた最大の区域と深さを表示しています。実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がります。

我が家の防災メモ

家族で集合場所や緊急連絡先を決めておきましょう。

その他

第一集合場所
(避難場所)

名前

電話番号1

電話番号2

名前

電話番号1

電話番号2

第二集合場所
(避難場所)

名前

電話番号1

電話番号2

名前

電話番号1

電話番号2

【家族等
連絡先】